

～ともに助け合うまちづくり～

身体障がい者の日常生活の改善等に向けワークショップを行いました。

障がいのある方が生活していく上で困っておられることや災害時における心配ごとなどについてアンケートを行い、230名の方から回答をいただきました。

10月6日の会議では、身体障がい分野の回答に焦点をあて意見交換し、問題解決の方法や災害時の支援等についてグループワーク形式で話し合い、実現可能な解決策の一部として、以下の3点に意見をまとめることができました。

- ①福祉教育による障がいへの理解と気づきの促進
- ②地域とのつながりづくり
- ③既存のサービスの積極的な広報・PRの必要性

また、「当事者からの貴重なアンケート結果をもっと生かすために、専門家による詳細な分析が必要」、「区役所、区社協の課題として、障がい者が入所しやすい福祉避難所の確保が必要」などの意見が挙がりました。

これで、身体・知的・精神の3障がい分野のアンケート結果の集計と今後に向けての方向性を検討するワークショップが終了しました。今後は、知的・精神分野のワークショップの結果をもとに、次の3点について進めていくこととなりました。

- ①相談窓口がはっきりと分かるシンプルな広報の必要性
- ②地域で障がいについての理解を深める勉強会の実施
- ③障がいのある方、そのご家族を支えるボランティアの育成

まずは①の広報から取り組みを進めていく予定です。

今後、当事者やご家族のみなさまからいただいた貴重な声にもとづき、取り組みを進めていきたいと思っております。

